



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	北田, 章; 辻野, 守典; 保川, 圭司 他
Citation	makoto. 1985, 49, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86034
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



新年のごあいさつ

大阪府衛生部長

北 田 章



謹 賀 新 年

財団法人大阪防疫協会

理 事 長 辻 野 守 典

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、つつがなく昭和60年の新春を迎えられましたことと、心からお喜び申し上げます。

旧年中は、本府の衛生行政に多大のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、21世紀がまた一步近づき、今や皆様方の子どもや孫の時代がもう手の届くところまで来ました。

この21世紀に向って“定住時代にふさわしい大阪づくり”を基本理念として、輝かしい新時代の希求に応える衛生行政を推進する決意を新たにしているところでございます。

人生80年時代にふさわしい、生涯にわたる健康の保持・増進、そして、疾病の予防と早期発見から、治療はもとより社会復帰に向けての様々なリハビリテーションに至る一貫した保健医療システムの整備充実に力を注いでまいり考えてでございます。

そして、更に府民が、より快適で、より豊かな生活に向かって、安全で衛生的な生活環境の確保を図るための保健衛生施策を、きめ細かく展開してまいりたいと考えております。

それには、貴協会をはじめとする関係諸団体、更には府民のご理解とご協力を賜わることが必要でございます。

貴協会が、防疫活動にはじまり、水質検査、ビル環境衛生管理等に果たされる役割は誠に大であります。

つきましては、本府衛生行政の推進に今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、貴協会のますますのご活躍、ご発展を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

明けましておめでとうございます。昨年中は何かと御指導、御鞭撻ありがとうございました。本年もよろしく御願い申し上げます。

「ニューメディア」に明け暮れた1年でしたが、世田谷の通信ケーブル火災は、「ニューメディア」社会の脆弱性をさらけ出した。

今日は飽食の時代、学校給食では、毎日食べ残された多量のパンなどが捨てられているという。一方では、飢えに苦しむ「アフリカ難民」の姿が報じられている。ある新聞の「100才」は語るの中で、千葉県の「黒須まん」さんは、「今はぜいたく過ぎますよ。物はたくさんあるし。何だって捨てちゃう。けしからん話ですよええ」。と物を大切にしない最近の風潮を憤慨した。とある。

「おしん」の時代は遠くなって来たけれども、「物」の大切さについて変わりはないと思う。戦争を体験した世代は、「一粒の米にも感謝の心を忘れてはならない」と教えられて来たし、「ひもじい」「しんぼう」ということを、身をもって体験し、「物の大切さ」を、いやというほど知らされて来た。学校給食は敗戦後の物資欠乏の時代に始まっている。

戦後のアメリカ合衆国からやって来た？「使い捨て文化」、しかし、その一方にある「ガレージ・セール」に見る、物に対する見栄をはることの少ない合理性を見落して来た。アメリカ帰りの留学生から聞いた中流家庭の、「牛乳紙容器は日に干して燃料とするから、捨ててはいけない」という話に、自分の耳を疑ったことがあった。

思うに世田谷通信ケーブル火災の教訓は、多くのことを示唆していると思う。「ニューメディア」社会に見た脆弱性は、今日のわれわれの社会の中に根づいているのではないだろうか。一過性の「おしん症候群」で終わってしまったのでは、甚だ心もとないような気がする。



新年のごあいさつ

大阪市環境保健局長

保 川 圭 司

財団法人大阪防疫協会の皆さん、あけましておめでとうございます。

昭和60年の新春を迎え、皆様方の御多幸と御繁栄を心からお祈りいたしますとともに、平素から大阪市の環境保健行政に対しまして、格別なる御協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、大阪市では、4年後に、市制100周年を迎えますが、その歴史は市民の皆さんの大きな力に支えられ、今日の「大阪の町」づくりが進められてきたと言えます。今後更に21世紀へ向けて大阪を世界に開かれた国際的で、文化的な都市へと発展させるために、快適な住みよい町づくり、各種保健医療体制の充実、きめの細かい福祉の充実を推進しておりますが、なかでも環境の整備は極めて重要なものであると考えております。市民に直結した、このようなアメニティーの追求こそ、今日最も望まれているものでありまして、その環境政策の一端を担う環境保健行政の責任の重さを痛感しているところであります。

近年、市民生活における公衆衛生思想の向上、生活様式の多様化にともない、いわゆる衛生害虫以外に、不快害虫として問題とされる生物の範囲が広がっております。このことは、これらの状況に対応できる高度で、適格な知識、技術が必要になってきているわけでありまして、そのためには、専門的知識と技術をもって着実な実績をおさめられている貴協会をはじめとする関係諸団体の御協力を賜ることにより、はじめて公衆衛生の向上と生活環境の確保が達成されるのでありまして皆さんのお力添えに大きく期待しているところであります。

財団法人大阪防疫協会の皆様方には、今後一層の研究を積み重ね、貴協会が限りなく御発展されますとともに、皆様方のますますのご活躍、御健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。



新年にあたって

堺市衛生部長

西 岡 久 雄

新年あけまして、おめでとうございます。

旧年は、本市保健衛生行政に格別のご支援ご協力を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、幸い、心配された台風の上陸もなく豊かな実りの秋をむかえましたが、反面、水不足による異常渇水に悩み、このままの状態では、市民の保健衛生に大きな支障が出るのではないかと、近畿の水がめ「琵琶湖」の水位の上下に一喜一憂をいたした年でもありました。

さて、堺市における法定伝染病の発生をみますと、年々減少傾向にあります。海外渡航者の増加により、輸入感染症の発生が漸増するという新たな問題を惹起いたしています。

これが対策として、常日頃から、国・府など関係機関とも緊密な連絡を保ちつつ、防疫体制の強化をはかっておかなければならないと存じています。

昭和64年は、本市が市政施行100年にあたる意義深い年でありまして、この年を目標に21世紀にはばたく飛翔の年にいたすべく、市民と一体となって新堺市総合計画を策定して以来一年半になります。

この間、市民各界各層のご指導とご協力を賜わりつつ「調和と風格のある町づくり」を強力に推進いたしているところであります。とくに、この総合計画の中で「市民の生涯を通じる健康づくりの推進」につきましては最重点項目として取上げ、地域保健サービス、食品衛生、環境衛生の向上にむけて諸施策を推進しているところであります。

国・地方を問わず財政事情は非常に厳しいものがありますが将来展望をしっかりと踏まえ、市民の健康の保持増進にむけて邁進いたして参りたい所存であります。

どうか、皆様方のより一層のお力添えをお願い申し上げます。

終りになりましたが、財団法人大阪防疫協会のご活躍とご発展と併せて、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。



新年のごあいさつ

阪急電鉄株式会社

ビル経営部長 高瀬 泰



絵 馬

南海電気鉄道株式会社

運輸部長 青木 恵二郎

新年あけまして、おめでとうございます。

皆様には、つゝがなく昭和60年の新春を迎えられましたことと、心からお祝い申し上げます。

一年の計は元旦にありと、申しますが、まさにその通りであり年の初めに、その一年の計画を十分な調査とデーターに基づいて策定し、話を進めねばなりません。我々が進める仕事は、ビル建設や駅施設の改善に伴う高架下利用など色々ございますが、この中で商業施設・業務施設等をレイアウトし、その地域のご利用者と直結した施設であり、その地域の玄関口となる施設を、計画するわけです。これはひいては、ご利用者の皆様が快適に、ひいては清潔に、楽しい、ゆとりのある空間としてご利用いただけるものでなければなりません。

一方、昨近の経済事情は、やっと光明が見えはじめたと云われて居りますが、世界に於ける米ソ外交の接近……とか、景気の浮上が……とか、新聞・ラジオ・TVで報道されておりますが、小売業界への波及は、身近に感じられず、本年は業界と共に今一層の活力ある消費者ニーズの喚起と、アイデアの練磨をつくさなければならないと思います。

本年夏には、梅田の北野阪急ビルが、ホテルをはじめ、ヘルスクラブ・D・Dハウスの新しい街として誕生し、更には、明春（昭和61年春）、池田駅高架下に新しくショッピングセンター、業務施設等の開業計画を進め、電車ご利用の皆様方をはじめ、地元のご利用の皆様方のニーズに応え得る、快適な、清潔な、楽しい、ゆとりのある諸施設を創造します。なお、貴協会におかれても、本年がますますのご発展、ご隆勝の年であり、平和な一年である事をお祈りして、新年のごあいさつとさせていただきます。

明けましておめでとうございます。

私は入社以来20有余年になるが、当社沿線の住吉大社に毎年初詣をする。仕事柄この10年間は制服で早朝からお参りし、鉄道の1年間の無事故を祈願することから元旦が始まっている。従って大晦日の紅白歌合戦を見て除夜の鐘を聞き、朝寝をするといった人並みのゆったりとした過し方は10年以上経験がない。私の行動に合わせるため家族も七時過ぎには必ず起き全員で雑煮をいただき挨拶を交わすのが習慣になっている。

さて、我が家にはもう一つの習慣が10年位前からある。それは初詣で絵馬を買い家族全員が共通の願い事として交通安全、家内健康を書き、あとは各人が今年の努力目標を学業、仕事、趣味を問わず一つまたは二つ書き加えるのである。このような習慣も10年も続くと面白く、毎年新しい絵馬に記入する時必ず数年前からの絵馬を懐しく見直し、何年前にはこんな事に熱中していたんだなあと思い出し楽しむのである。私自身の目標を見ると、4年前から始めたゴルフのスコア目標が書かれており上達の程度が伺えるのである。しかしやはり娘達の努力目標をみると年月の経つのが早いのかを感じると同時に、このような楽しい習慣がいつまで続くのかと思うこともある。

さて、今年の目標であるが、長女が高校受験を迎えるので家族全員の共通の願い事に希望校合格を例外として加え、本人も努力目標に加えてくれるだろうと期待している。

絵馬もただの神頼みとしての願い事ばかりでなく、自分達の努力目標をフリーに書いて、1年経過後チェックしてみたり、又何年も大切に保管し後年懐しむと思わぬ効用があるように思われるのである。



キャプテン 「船長の船出」

関西テレビ放送株

総務局次長 松本 幹 男
兼総務部長

明けましておめでとうございます。

皆さんご承知のように昨年11月に、ニューメディアの先兵キャプテンシステムが、当面首都圏と京阪神で実用化の第一弾としてスタートいたしました。

国際名称「ビデオテックス」、日本では「キャプテン」というこのシステムは、電話と家庭のテレビ受像機を利用して文字と図形情報を送り、利用者のリクエストに応じた情報を映し出す新しい情報サービスであり、欧米では既に、実用化されていましたが、日本ではようやく実現することになりました。

又、昨年の12月には、BS-3の放送衛星を利用して日本全国をサービスエリアにもつNHKの他に、日本衛星放送株式会社が創立されるなど、放送界でさわがれてきたニューメディアは一步実用の段階に足を踏み入れた年となりました。

ところがニューメディアが既に商業化しているアメリカでも、経営上は軌道にのり難く、各所で試行錯誤の状況が伝えられており、事業化の時代に入っていないながら、現実には計画通り進まず、各所に退潮の色が濃くニューメディアの前途は波乱に満ちているようです。

ところで、わが国でもいよいよ今年からニューメディアの実用化の時代に入ってきましたが、NHKに対抗する民間の有料システムは厚い壁となるおそれが予想されます。

設立したばかりの日本衛星放送株式会社に於いても、BS-2の故障が解明されていない不安な現段階で、各種の利権先行型で、利用者に対するメリットや運営に対する方策の確立がなされていない、赤字覚悟の運営が予想されています。

又、キャプテンの文字図形情報システムは既に欧米諸国で実用化がスタートしていますが、利用料金や端末機が高いことが壁になって普及するまでに至っていない状況です。我が国でも端末機の標準品で21万円もすることから、キャプテン開業当日の端末

機の利用台数は、京阪神で520台あるものの、ほとんどが情報提供会社で、個人が家庭で利用するのは僅か20台にすぎない状況で、普及には時間がかかることが予想され、今後どのようにキャプテンが利用され、どう定着していくかは未知数で、今後多くの試行錯誤が繰り返されていくことになると思われます。

いずれにしても、ニューメディアであっても、既存媒体であっても、利用者が最終的に選択するものであって、この点我々テレビ放送関係者が探究、模索することが今後の重要な課題と思われます。

新年にあたり、ニューメディアの夢と、とまどいを乗せて船出する船長の今後に大きな期待を寄せたいと思います。

本年も皆さま方のご健康とご発展を祈念いたします。

謹
賀
新
年

旧年中何かとご指導
ありがとうございました。
本年もよろしくご指導
お願い申し上げます。
元旦

職 理
員 事
一
同

